

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	幹線道路(市道)整備事業						継続									
コード	24	-	68	-	01	-	00	予算事業名	幹線道路(市道)整備							
担当部署	建設部	道路街路課			道路建設担当			予算事業コード	会計	10	款	08	項	02	目	03

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)		位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	幹線道路(市道)整備事業
方向性(節)	2節	交通ネットワークの構築	個別計画等の名称	なし
施策	1	道路交通体系の整備	当事業に関連する事務事業	なし
細施策	2	地域の活動を豊かにする幹線道路の整備		
事業実施の根拠となる法令・条例等	道路法・道路構造令・租税特別措置法・収用法・騒音及び振動規制法等			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	全ての道路利用者を対象に市道幹線道路の継続的な整備を行い、幹線道路ネットワークの樹立と市域の均衡ある発展を目的とする。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	測量及び設計を業務委託して、事業実施のための説明会を開催し、計画線について了承を得た後、事業用地面積を確定し、用地課にて用地買収、物件調査を実施。同意を得た後、道路整備工事を実施する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額					124,000	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A					124,000	106,900
人件費 B	0	0	0	0	6,016	6,016
総コスト(C=A+B)	0	0	0	0	130,016	112,916
正規職員(1年間の従事人数)					0.82人	0.82人
臨時職員(1年間の従事人数)					0.00人	0.00人
国県支出金 D					28,380	0
その他特定財源 E					0	0
市の財政負担(=C-D-E)	0	0	0	0	101,636	112,916

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
活動 測量・線形計画数	件	2	2	1	3	3	26年度 13
指標の定義・説明	1年間の策定件数						
活動 計画説明会数	回	2	2	2	0	1	26年度 2
指標の定義・説明	1年間の実施回数						
活動 道路改良工事整備延長	m	1,091.6	241.4	586.7	388.8	560.0	26年度 360.0
指標の定義・説明	1年間に行った工事延長(当該年度)						
指標の定義・説明							
指標に基づく評価	事業の目的が、市道幹線道路の継続的な整備を行い、「幹線道路ネットワークの樹立と市域の均衡ある発展を目指す」という大きな目標であり、工事を実施するには用地買収を伴うので、成果指標は設定が不可能であるが、活動指標は順次進行している。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
本事業は、市全体の道路交通体系を検討、考慮して計画された道路整備であるため、説明会等で沿線住民(地権者)の事業への理解と協力を求めますが、用地交渉が計画的に進まないこともあり、又、用地買収費(補償費等を含む)に多額の予算が必要であるため、予算規模が事業の進捗に影響を及ぼす。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	具体的な調査実績はない。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	総合計画の中で「道路交通体系の整備」に掲げられており、道路交通体系に基づき、地域における幹線道路の整備を図りつつ、歩行者が安心して歩ける道路づくりのために、本事業は、重要な役割を担っているため、その計画が大きく後退する。

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		建設部				道路街路課	道路建設担当
事務事業名称		24	68	01	00	幹線道路(市道)整備事業	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					